

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 花尾 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

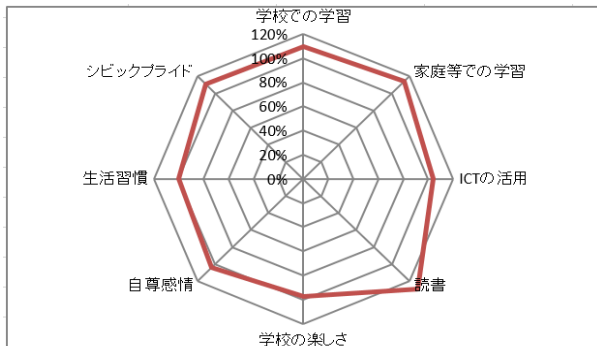
(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	すべての問題の正答率が全国平均を上回っている。正答数分布をみると、正答数が高い児童が割合的に高い一方、低い児童も一定数いることが分かる。自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが苦手な児童が多い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	1三(2)イ, 2一, 1四	
	努力が必要な問題	1二	
算数	全体的な傾向や特徴など	すべての問題の正答率が全国平均を上回っている。正答数分布をみると、正答数が高い児童が割合的に高い一方、低い児童も一定数いることが分かる。図形の性質について、言葉や数を用いて記述することが苦手な児童が多い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	1(1), 1(2), 2(2)	
	努力が必要な問題	2(3), 2(4)	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「友達関係に満足しているか」「自分には、よいところがあると思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」等の問いに対して約90%の児童生徒が肯定的に回答している。 ・読書の習慣が身につけている児童が多く、全国平均を上回っている。 ・「学校での学習で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」の問いについては全国平均よりも低い数値を示している。今後も主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びを目指して学校全体で授業改善を進めることが必要である。 ・学校の授業時間以外でのICTの活用について低い数値を示している。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ○「まとめ」「振り返り」は児童自らの言葉で書く習慣をつけるために、授業の中で問い返しをしたり、児童に考えをもたせる場面を設定したりして、児童の思考を深めるようにしている。 ○GIGA端末を活用して、児童が自ら調べたり確かめたりすることで、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れている。
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の具体的なやり方を指導したり、自主学習を学校で評価したりすることで、児童の意欲向上を図るようにしている。 ○AIドリルなど、児童が主体的に取り組める、GIGA端末を用いた学習を積極的に取り入れるようにしていく。 ○保幼・中学校との連携を充実させて、児童が入学や進学への不安を取り除けるように図っていく。
--